

# 令和8年度京都府公立高等学校入学者選抜前期選抜における共通学力検査の出題について

## <出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。また、出題範囲は、中学校学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学習している各教科の内容を踏まえた適切なものとなるようにする。

## <特徴>

### 基礎・基本の定着、論理的な思考力、判断力、表現力等をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着と、基礎・基本の理解からその発展的問題への思考過程をみるとともに、生徒が身に付けた様々な知識及び技能を活用して総合的に考え、判断し、表現できるかどうかをみる記述式の解答を求める問いを設けた。

## <各教科の特色と傾向>

### 【国語】

- 1 **大問一**及び**大問二**では、文章に含まれている情報同士の関係を捉えて文章を正確に理解しているか、文章の構成や論理の展開を捉えて内容を解釈しているかをみるとともに、理解・解釈した内容を適切に表現する力をみた。また、言葉の特徴や使い方に関する事項についての問いと、「話すこと・聞くこと」に関連する問いを設けた。

〔出典〕「文房具の考古学」吉川弘文館 やまもとたかふみ 山本孝文（日本大学教授）

「虹と空の存在論」ぷねうま舎 いいだたかし 飯田隆（慶應義塾大学名誉教授）

**大問一**の本文は、考古学研究の研究対象としての文房具についての筆者の考えを述べた文章であり、**大問二**の本文は、存在論についての筆者の考えを述べた文章である。本文の内容を正確に理解することで、人間、社会、自然などについての考えを深める契機となることを期待する。

- 2 **大問三**では、近世の文章を題材とし、内容を読み取る力をみた。また、歴史的仮名遣いなどについて問い、古典を理解するための基礎が身に付いているかどうかをみた。

〔出典〕「にっぽんえいたいぐら日本永代蔵」（「新編日本古典文学全集」小学館 より）

江戸時代の浮世草子。著者はいはらさいかく井原西鶴。

本文は、主人公が裕福になるために行った工夫について述べた文章である。本文の内容を読み取ることで、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典の世界に親しむ態度が養われていくことを期待する。

### 【数学】

- 1 数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等をみるように工夫した。また、複数の領域を関連付けた問いや、異なる学年の学習内容を関連付けた問いを設け、中学校の学習内容を統合的に活用できるかどうかをみた。
- 2 三角柱について考察する問題（**大問5**）については、空間図形の一部として平面図形を捉える問いや、空間における直線や平面がどのような位置にあるか、また、どのような交わり方をするかを考察する問いを設け、数学的な見方や考え方を活用する力をみた。また、規則的に並べるタイルに関する問題（**大問6**）については、数量の関係や法則などを、式を用いて表したり読み取ったりする力をみる問いを設け、数学的な思考力、判断力、表現力等を段階的にみることができるよう工夫した。

### 【英語】

- 1 全体を通して、生徒の身近な暮らしに関わる場面についての問題を設け、英語でのコミュニケーション能力の基礎となる知識及び技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用した思考力、判断力、表現力等が身に付いているかどうかをみた。
- 2 絵を見て会話文を完成させる記述式問題（**大問1**）では、言語の使用場面や働きに留意しながら基本的な語彙や文法などの知識を活用して、状況に合った適切な表現ができるかどうかをみた。
- 3 長文問題では、スタイルの異なる2つの文章から出題し、語句や文法などに関する知識が身に付いているかどうかをみるとともに、内容を正しく読み取る力をみた。理髪店のリストを題材とした問題（**大問2**）では、必要な情報を整理して読み取る力をみる問いを設けた。扇子を作る体験教室への参加を通して学んだことを題材とした問題（**大問3**）では、本文全体の論旨を正確に読み取れているかどうかをみる問いを設けた。
- 4 リスニング問題では、会話や案内などまとまりのある英語を聞いて概要や要点を適切に聞き取り、正しく理解し、内容に関する質問に対して適切に応答する力が身に付いているかどうかをみた。